

宮崎県農林水産業における環境負荷低減事業活動促進に関する基本計画の概要

- 堆肥の高品質化・ペレット化の促進及び宮崎方式ICM※の実施等により、化学肥料・化学農薬の使用量削減を図るとともに、省エネ型農林業機械等の導入による温室効果ガスの削減を図り、環境と調和した農林水産業の実現を目指す。

※土づくりや適正施肥等を基本に、生物農薬や防除資材等を活用して、適正かつ低コストな防除を行うことで、収量と品質の向上を図る総合的な作物管理

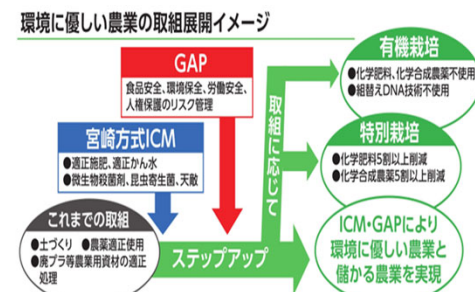
【作成主体】 宮崎県及び県内全26市町村

【計画の主な目標】

- ・ 有機JAS認証面積（農業）：922ha（R12）
- ・ 畜産バイオマス発電施設数（農業）：8施設（R12）
- ・ 経営基盤を強化する経営体（水産業）：103件（R12）
- ・ 有機JAS、GAP認証件数（林業）：15件（R12）



鶏糞発電施設



環境に優しい農業の展開

【取組のポイント】

- ・ 堆肥の高品質化・広域流通システムの構築や宮崎方式ICMの普及により、化学肥料や化学農薬の低減、有機農業の取組を推進
- ・ 園芸ハウス栽培におけるヒートポンプの活用等により温室効果ガスの排出量を削減
- ・ 国、県の試験場や民間企業等と連携し、サツマイモ基腐病抵抗性品種の普及や土壌病害虫抵抗性ピーマン品種の開発を推進
- ・ 試験販売や学校給食への利用、PRイベント等を通じ、環境負荷低減事業活動により生産された農林水産物の消費者理解の醸成や販路の拡大



イベントでのPR

【特定区域の設定】

○有機農業の生産活動の取組

えびの市（飯野地区東部）、^{いいのちくとうぶ}宮崎市（全域）、^{みやざきし}綾町（全域）^{あやちよう}